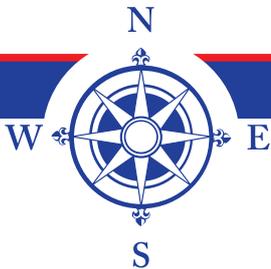


KANDAI

■ 関大ニュース



NEWS

吹田市立第一中学校区・豊津中学校区の小中学生が大学の課外活動クラブに1日体験入部



クラブ1日体験入部の様子(弓道部)



豊津中学校区の参加者たち

地域教育協議会とスポーツ振興グループの連携による1日体験入部が千里山キャンパスで開催され、12月1日に吹田市立第一中学校区の小中学生約200人、1月26日には豊津中学校区の小中学生約140人が参加した。



演舞を披露する応援団

各日、参加者たちは希望するクラブに1日限定で入部し、クラブやサークル活動を体験。大学生に教えてもらいながら、生き生きとした表情でスポーツや楽器演奏を楽しんだ。また、関西大学応援団による演舞披露も行われ、その迫りに圧倒される一幕もあった。

大阪・関西万博の会場で「夢洲関大Days」を開催

関西大学は2025年大阪・関西万博の会場において、「夢洲関大Days」と題して催事・パビリオンに参加する。「大阪ヘルスケアパビリオン」や「ウーマンズパビリオン」、「電力館可能性のタマゴたち」、「フューチャーライフヴィレッジ(Team Expoパビリオン)」などにおいて、100年後の未来をテーマにした舞台演劇や、真のダイバーシティについて考えるシンポジウム、共創チャレンジの成果発表などを実施するほか、各種学生団体によるエネルギーパフォーマンスなど、10以上のイベントを夢洲で繰り広げ、大阪・関西万博の会場を盛り上げる。

●大阪ヘルスケアパビリオン
(提供: (公社)大阪パビリオン)



●フューチャーライフヴィレッジ
(TEAM EXPOパビリオン)



「関大みらい〜ねフェスタ」全イベントが終了

吹田みらいキャンパスが地域のハブ拠点として、「地域住民から愛され頼られるようなかけがえのない存在として認知されること」を目指し始動した「関大みらい〜ねフェスタプロジェクト」では、2024年2月より計12回のイベントを開催し、地域との交流を深める機会を創出してきた。3月20日にはその集大成として「関大みらい〜ねフェスタ感謝祭“つながり”」を開催。来場者数は延べ1,500人を超え、4月に控えた吹田みらいキャンパスのフルオープンに向け、近隣住民の方々から多くの温かい応援メッセージが寄せられた。



▲スタンブラリーイベント(7月)



▲元阪神タイガース岩田稔氏による講演会(11月)



▲クリスマスイベント(12月)



◀ 関大みらい〜ねフェスタのメンバー

化粧まわしを贈呈した安青錦関が躍進
体育会相撲部との稽古に参加

体育会相撲部は11月5日、ウクライナの戦火を逃れて来日し、関西大学で稽古していた安青錦関(ダニエロ・ヤブグシシンさん)の十両昇進を祝い、スクールカラーの紫紺色に校章の刺繍をあしらった化粧まわしを贈呈した。安青錦関は本学での練習生時代を経て、安治川部屋に入門。2023年に初土俵以来、好成績を続け、九月場所では幕下で6勝1敗の成績を収めて新十両に昇進が決まった。さらに十両でも十一月場所で10勝5敗、一月場所で12勝3敗の好成績を挙げて2月25日に発表された新番付では新入幕。歴代1位タイのスピード昇進となった。2月28日には千里山キャンパスの相撲部道場で稽古が行われ、安青錦関も参加。部員たちと共に汗を流した。



▲部員の稽古の相手をする安青錦関(右)

●ビジネスデータサイエンス学部開設記念 客員教授講演会を開催 ビジネスに求められるデータサイエンスとは

2025年4月のビジネスデータサイエンス学部開設を記念して、本学客員教授による講演会が、2月26日に千里山キャンパスで開催された。第一部では、株式会社ナシオの原正浩氏が「卸売業のリテールサポート・マーケティング」をテーマに、リテール業界におけるデータ活用について紹介。第二部では、生活協同組合コープさっぽろの大見英明氏が「逆境を味方にするコープさっぽろの経営戦略」と題して、事実上の経営破綻に陥ったコープさっぽろを再生させたプロセスや、経営戦略におけるデータ活用について解説した。

両氏の講演の後にはパネルディスカッションが行われ、AI・データ活用の重要性や大学教育の課題について語り合った。



▲パネルディスカッションの様子 大見英明氏(左)、原正浩氏(右)

KANSAI UNIVERSITY SOCIAL MEDIA

